

れた(別紙)。井上会長より会誌への投稿依頼がなされた。

- (2) Clay Science の発行・編集状況(上原(誠))：Vol.15 No.3・4ならびに Vol.16 No.1・2 の発行・編集状況ならびに Asian Clay についての編集状況を含め、今後の発行予定について報告がなされた(別紙)。井上会長より会誌への投稿依頼がなされた。以上の報告を受け、井上会長より編集委員長に投稿数などの年間毎の統計数の報告について依頼があった。
- (3) 会計(土信田)：平成24年度会計中間収支状況(別紙)の報告がなされた。
- (4) 行事・国際協力(佐藤(努))：日本粘土学会現体制状況・第55回粘土科学討論会の報告・学会賞等受賞報告を AIPEA に報告、掲載予定について報告がなされた。
- (5) 企画
 - ①標準粘土(宮脇)：標準粘土の依頼状況について報告がなされた。
 - ②ホームページ(岡田)：本学会HPのサーバ移転完了ならびにその後の状況について報告がなされた。
- (6) 庶務 会員動向(山崎)：会員の動向に関して報告があった(別紙)。
- (7) 連合等(山崎)：日本地球惑星科学連合大会でのセッション設立に関する報告および学会連絡委員担当として引き続き山崎委員が担当することが報告された。日本地球惑星科学連合大会参加費に関して加盟学会会員の参加費割引(AGU会員同様)に関して意見があり、学会として日本地球惑星科学連合事務局に連絡することとなった。
- (8) 事務局(土信田)：共催・協賛について報告があった(別紙)。
- (9) その他
 - ・研究グループ活動資金返金に関して 横山委員より放射性物質-粘土相互作用研究グループの活動資金(5万)の返金に関して報告がなされた。

2. 審議事項

- (1) 第2回 Asian Clay (第56回粘土科学討論会)について 佐藤(努)委員より開催国韓国側との進行状況が説明され、第2回 Asian Clay の Proceedings を本学会の Clay Science にて発行することなどについて話し合われた。その結果、以下のことが決定した。
 - ① Proceedings について 必要なテンプレートなどの一式を Asian Clay の HP に掲載を依頼し、別刷り等の金銭的なことについては日本側が対応する。
 - ②別刷りについて 今回の大会のみ別刷代及び PDF ファイルは別途自費として希望者のみ扱う。
 - ③冊子について 印刷代等の経費は韓国側に請求する。

④発行形態について 第2回 Asian Clay の Proceedings の1冊を特別号として発行する。

⑤掲載数 最大50編とする。

⑥冊子代金について 韓国側に参加費に含む形で要望する。

その他、当初予定されていた地質巡検に関しては開催が困難であるとの回答があったことが八田常務委員長より報告があった。また第2回 Asian Clay での日本粘土学会の総会・常務委員会・評議員会の日程や総会の委任状などについても確認が行われた。

- (2) 第57回粘土科学討論会について 八田常務委員長より高知での開催予定日時および懇親会会場の案が説明され、開催日を平成25年9月4～6日(6日は巡検)とすることで承認された。懇親会等に関しては担当委員に一任することとなった。

3. 協議事項

- (1) 平成24年度日本粘土学会賞等選考結果 八田常務委員長より選考結果(別紙)について報告され、承認された。
- (2) 平成24年度日本粘土学会学術振興基金賞選考結果 八田常務委員長より通常の振興基金賞ならびに Asian Clay 特別枠の選考結果(別紙)について報告され、承認された。
- (3) 支援金の依頼について 八田常務委員長より地学オリンピック日本委員会からの支援金依頼について説明がなされ、依頼理由等を検討した結果、今回は援助しない旨を事務局より回答することで承認された。

4. その他

- ・Clay Science 編集印刷費の見直しについて 八田常務委員長より Clay Science 編集印刷費の経年変化(別紙)について報告がなされ、今後の予定について説明があった。
- ・法人化について 八田常務委員長より法人化に向けた取り組みの状況について説明がなされた。

以上

平成24年度 第4回日本粘土学会常務委員会・評議員会議事録

日 時：平成24年9月6日(木) 11:00～13:00

場 所：Ewha Womans University (梨花女子大学)

出席者(順不同、敬称略)

井上、山田、八田、志々目、永田、岡田、高木、鈴木(憲)、上原(元)、伊藤、會澤、佐藤、川俣、日比野、河野、上原(誠)、福岡、宮脇、篠原、横山(記)

1. 報告事項

- (1) 粘土科学の発行・編集状況(篠原)：本年度の発行

状況および過去3年間の受付・掲載原稿の種類に関して報告がなされた(別紙)。

- (2) Clay Science の発行・編集状況(上原(誠))：本年度の発行状況および投稿件数について報告がなされた(別紙)。また、Clay Science 編集委員会について Vol15 から編集委員が交代したこと、Vol16 から海外の顧問編集委員16名が加わったことが報告された。
- (3) 会計(八田)：平成24年度会計決算(別紙)の報告がなされた。特に、支出の部(討論会費)について、H24粘土の討論会が AsianClay との同時開催であったことから620千円の予算額に対して600千円の差額が生じたとの報告があった。
- (4) 行事・国際協力(佐藤)：特になし。
- (5) 企画
 - ①標準粘土(宮脇)：例年通りの依頼状況であることが報告された。
 - ②ホームページ(岡田)：特になし。
- (6) 庶務 会員動向(八田)：会員の動向に関して報告があった(別紙)。
- (7) 連合等：特になし。
- (8) 事務局：特になし。
- (9) その他 特になし

2. 審議事項

- (1) 平成24年度決算および会計監査について
八田常務委員長より8月末に行われた会計監査に関して説明があり(別紙)、説明どおりに承認された。また、志々目会計監査役より決算報告の記載事実と相違ないことを確認したとの報告があった。
- (2) 平成25年度予算案について
八田常務委員長より平成25年度の予算案についての説明がなされた(別紙)。収入の部では個人会員会費が昨年度比で減額であること、支出の部ではH25年度は役員選挙が無いことから印刷費や通信費が昨年度比で減額であることなどの説明がなされた。審議の結果、予算案どおりに承認された。
- (3) 総会議事次第について
八田常務委員長より総会での議事次第について説明がなされ、承認された(別紙)。

3. 協議事項

- (1) 平成24年度日本粘土学会論文賞について
八田常務委員長(代理)より平成24年度日本粘土学会論文賞について、選考結果の説明がなされた(別紙)。以下の受賞者が承認された。
粘土科学：鈴木啓三ほか「モンモリロナイト/水分散液の粘度に影響を与える要因 2. モンモリロナイト粒子のアスペクト比の水懸濁液の粘度の関係」
Clay Science：N. Iyi and H. Yamada「One-pot conversion of carbonate-type LDH (layered double

hydroxide) into organo-LDH hybrids containing organic sulfate and sulfonates by applying acetate buffer decarbonation method」

4. 会長等役員選挙結果報告

八田常務委員長より粘土学会役員の開票結果報告があった(別紙)。

5. その他

井上会長より退任のご挨拶があった。

以上

平成24年度 第4回日本粘土学会総会議事録

日 時：平成24年9月7日(木) 11:30~13:00

場 所：Ewha Womans University (梨花女子大学)

1. 開会の辞(山田)

逝去会員への黙祷：大津賀名誉会員、江川名誉会員、金岡シニア会員、小坂シニア会員、池田会員、佐伯会員のご逝去に対して、黙祷を行った。

会の成立報告(岡田)：87名出席、64名委任状、正会員の1/10以上に達したので、会成立となった。

2. 議長選出：伊藤会員が選出された。

3. 会長挨拶(井上)

4. 報告事項

- (1) 常務委員会報告
編集〔粘土科学〕(篠原)：第50巻ならびに第51巻の発行報告ならびに発行予定に関して報告があった。
編集〔Clay Science〕(上原)：Vol15 および Vol16 の発行報告ならびに今後の発行予定に関して報告があった。
国際協力：〔AsianClay〕(佐藤)：現地開催中の第2回 AsianClay の現状報告があった。
行事委員：特になし。
企画〔標準試料〕(宮脇)：例年通りの依頼状況であることが報告された。
〔ホームページ〕(岡田) 特になし
庶務〔会員動向・研連等〕(八田)：会員動向について報告があった。
次年度開催予定(中川)：次年度粘土科学討論会は9月4日~6日に高知で開催予定であることが報告された。
- (2) 会長・評議員・会計監査役選挙結果(八田)：平成25年度・26年度の会長・評議員・会計監査役に関する選挙結果が報告された。
- (3) その他